



## 2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 戸谷 元彦 TEL (03)5840-9551  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	1,024	5.2	20	△81.5	21	△80.6	4	△93.9
2020年6月期第1四半期	973	14.1	108	△7.0	109	13.0	66	9.9

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 4百万円 (△93.9%) 2020年6月期第1四半期 66百万円 (9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	0.47	0.47
2020年6月期第1四半期	7.76	7.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	3,824	3,402	88.9
2020年6月期	3,973	3,500	88.1

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 3,401百万円 2020年6月期 3,499百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	15.1	460	△4.0	460	△5.9	280	△13.4	32.80
	～5,000	～19.9	～500	～4.3	～500	～2.3	～330	～2.1	～38.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	8,538,000株	2020年6月期	8,538,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	201株	2020年6月期	201株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	8,537,799株	2020年6月期1Q	8,537,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に広がるなか、米中関係の悪化、東アジアにおける地政学的リスクの高まり、新興国経済の成長鈍化、ブレグジット後の欧州情勢など、不安定要因や景気下振れリスクをはらんで推移しております。

ただ、消費者による保険へのニーズは依然として高く、一般社団法人生命保険協会の生命保険事業概況によると、個人保険新規契約(金額ベース)は5月25日の緊急事態宣言解除以降徐々に回復し、8月には前年同月比13.8%増とプラスに転じました。

このような外部環境の下、当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。また、独自開発した『保険IQシステム®』、『ASシステム』及び『AS-BOX』を活用し、店舗及びシステムユーザーの更なる拡大を目指しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ・保険販売事業

直営店部門は、新規出店した1店舗(本厚木ミロードイスト店)により、9月末は45店舗となりました。緊急事態宣言に伴う最大24店舗の一時休業により落ち込んでいた集客は、宣言解除後の営業再開を受けて回復基調にあります。

また施策として実施した、①関東・関西・東海・静岡の4エリアにおいて実施したテレビコマーシャル、②テレビコマーシャルと連動させたWeb広告や直営店における各種イベント、③電話相談・オンライン相談への積極的な誘導により、新規契約手数料は順調に推移しました。

一方、新型コロナウイルスの影響を受けた時期の成績に応じて受け取った手数料は軟調に推移しましたが、同部門の売上合計では当初予想を上回っての着地となりました。

法人営業部門は、大型案件の成約があったことから、順調に推移しました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は669,050千円(前年同期比2.1%増)、セグメント利益は103,922千円(同35.5%減)となりました。

#### ・ソリューション事業

AS部門は、新型コロナウイルスの影響で4月から6月にかけて営業活動の自粛期間があったこと、見込み先企業で検討が進まなかったこと、8月に保険代理店の大型解約があったことが影響し、やや低調に推移しました。今後も全国規模の金融機関や大手保険会社、地方銀行、企業系代理店による新規導入に向けて具体的な話し合いを進めております。

FC部門は、FC店舗数が前期末181店舗から182店と1店舗増にとどまりましたが、前連結会計年度に店舗数が大きく増加(22店舗増)したことから、手数料収入や月額利用料が伸びました。

引き続き、①保険業界への参入を目指す他業界の企業をターゲットとした新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③各FC店に対する継続した店舗運営の指導、④全国の代理店経営者を集めた会議における研修や情報交換という施策を実施していきます。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は283,573千円(前年同期比0.3%減)、セグメント利益は60,592千円(同33.8%減)となりました。

#### ・システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、同社開発の「スマートOCR®」(注)の売上が順調に推移しており、多くの会社様よりお問い合わせを頂き、受注へ結び付いております。また、受託開発も好調に推移しており、売上高を大きく伸ばしました。

この結果、同事業の第1四半期連結累計期間の売上高は71,928千円(前年同期比110.0%増)、セグメント損失は4,922千円(前年同期は17,223千円の損失)となりました。

(注)「スマートOCR®」とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

当社グループは2021年6月期を「投資・準備期間」と位置づけて、3年後のあるべき姿に向けて計画的な投資を行っております。

具体的には、①デジタル化に向けたシステム開発、②成長戦略に対応するための人材採用及び本社増床、③認知度向上を狙ったテレビCMの放映を実施しました。

この結果、販売費及び一般管理費につきましては、883,692千円（前年同期比14.1%増）となりました。

以上の施策により、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,024,553千円（前年同期比5.2%増）、営業利益20,099千円（同81.5%減）、経常利益21,223千円（同80.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益4,037千円（同93.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,448,356千円となり、前連結会計年度末に比べ184,477千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が298,150千円減少したことによるものであります。固定資産は1,376,216千円となり、前連結会計年度末に比べ35,580千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が17,454千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,824,573千円となり、前連結会計年度末に比べ148,897千円減少いたしました。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は395,345千円となり、前連結会計年度末に比べ53,887千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が42,077千円減少したことによるものであります。固定負債は27,193千円となり、前連結会計年度末に比べ3,405千円増加いたしました。これは主にその他の固定負債が3,550千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、422,539千円となり、前連結会計年度末に比べ50,481千円減少いたしました。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,402,033千円となり、前連結会計年度末に比べ98,416千円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が98,416千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は88.9%（前連結会計年度末は88.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年8月14日の「2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,105,730	1,807,580
売掛金	414,638	467,840
その他	112,826	173,331
貸倒引当金	△361	△396
流動資産合計	2,632,834	2,448,356
固定資産		
有形固定資産	212,952	230,407
無形固定資産		
のれん	89,294	86,502
ソフトウェア	344,705	372,387
ソフトウェア仮勘定	24,924	9,689
その他	93,893	89,552
無形固定資産合計	552,817	558,131
投資その他の資産		
投資有価証券	100,027	100,027
保証金	339,254	344,085
繰延税金資産	47,665	42,152
その他	87,919	101,412
投資その他の資産合計	574,865	587,677
固定資産合計	1,340,636	1,376,216
資産合計	3,973,470	3,824,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,469	55,647
未払金	118,878	116,813
未払費用	50,847	60,463
未払法人税等	60,300	18,222
解約調整引当金	14,412	14,545
株主優待引当金	10,474	1,030
その他の引当金	3,684	—
その他	143,166	128,623
流動負債合計	449,232	395,345
固定負債		
長期未払金	2,616	2,471
その他	21,171	24,722
固定負債合計	23,787	27,193
負債合計	473,020	422,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,319,154	1,319,154
資本剰余金	1,262,230	1,262,230
利益剰余金	918,584	820,167
自己株式	△221	△221
株主資本合計	3,499,747	3,401,330
新株予約権	702	702
純資産合計	3,500,450	3,402,033
負債純資産合計	3,973,470	3,824,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	973,648	1,024,553
売上原価	90,381	120,628
売上総利益	883,267	903,924
解約調整引当金繰入額	250	133
差引売上総利益	883,017	903,791
販売費及び一般管理費	774,541	883,692
営業利益	108,476	20,099
営業外収益		
受取利息	71	72
受取賃貸料	1,679	4,339
受取保険金	—	175
その他	5	81
営業外収益合計	1,756	4,669
営業外費用		
支払利息	35	35
賃貸収入原価	500	3,251
その他	75	258
営業外費用合計	610	3,545
経常利益	109,621	21,223
特別利益		
固定資産売却益	—	289
特別利益合計	—	289
特別損失		
固定資産除却損	3,770	2,841
特別損失合計	3,770	2,841
税金等調整前四半期純利益	105,851	18,672
法人税、住民税及び事業税	27,019	9,122
法人税等調整額	12,570	5,513
法人税等合計	39,589	14,635
四半期純利益	66,261	4,037
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,261	4,037



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	66,261	4,037
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	66,261	4,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,261	4,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書において、追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。